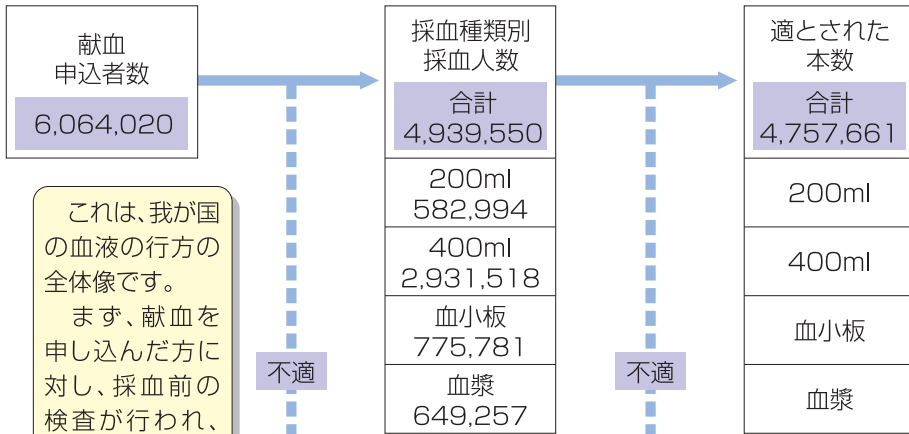


# 我が国における血液



これは、我が国の血液の行方の全体像です。  
まず、献血を申し込んだ方に対し、採血前の検査が行われ、問診により健康状態が確認されます。

不適

不適

	不適人数
採血基準	553,444
問診①	40,002
問診②	169,891
その他	361,133
合計	1,124,470

※

※問診①②については22ページ参照

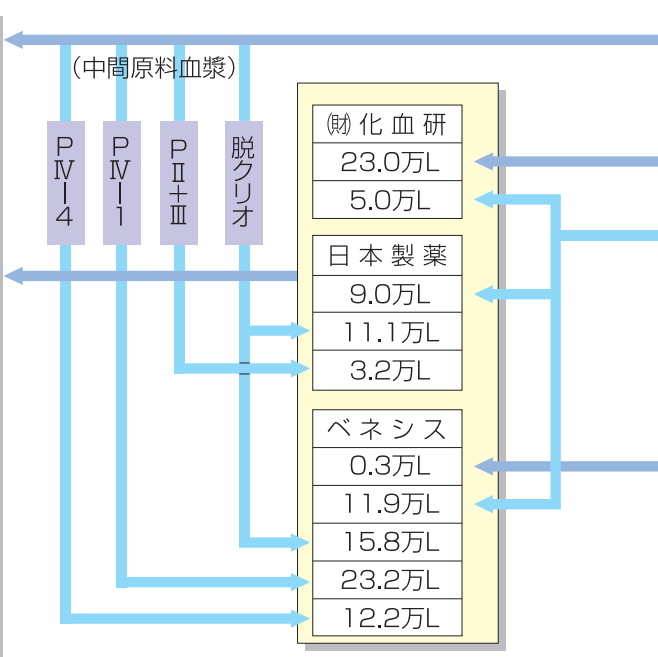
不適人数	内 訳	
181,889	一次検査	核酸増幅検査(NAT)
梅毒	6,598	
HBV	15,738	80
HCV	2,351	5
HIV	789	6
HTLV-1	4,640	
B19	421	
不規則	12,714	
肝機能	129,783	
その他	13,587	
延人数	186,621	91

採血前検査を通った方から採血された血液は、感染症や抗体について検査されます。  
ここで不適とされたものは、以後の製造には用いられません。

検査で適とされた血液は、輸血用血液製剤や原料血漿に調製されます。  
輸血用血液製剤は、日本赤十字社から医療機関に供給されます。

- <輸入>
- 製剤・血漿
    - ・アルブミン製剤
    - ・組織接着剤
    - ・インヒビター製剤
    - ・第Ⅷ因子製剤
    - ・免疫グロブリン製剤
    - ・抗HBsIG製剤
    - ・抗D(Rho)IG製剤
    - ・抗破傷風IG製剤
    - ・ATⅢ製剤
    - ・人ハプトグロビン
    - ・C1-インアクチベータ
    - ・血漿
    - ・中間原料
  - 遺伝子組換え
    - ・第Ⅷ因子製剤
    - ・第Ⅶ因子製剤

- 血漿分画製剤(19年度自給率)
- アルブミン製剤…………… 62.8%
  - 第Ⅸ因子製剤…………… 100%
  - - フィブリノゲン製剤
    - トロンピン製剤
    - 活性化プロテインC
 } 100%
  - 組織接着剤…………… 48.3%
  - 第Ⅷ因子製剤…………… 100%(血漿)
  - …………… 30.5%(組換え)
  - - インヒビター製剤
    - 第Ⅷ因子製剤
    - 抗D(Rho)IG製剤
    - 抗破傷風IG製剤
    - C1-インアクチベータ
 } 0%
  - 人ハプトグロビン…………… 100%
  - 免疫グロブリン製剤…………… 95.9%
  - 抗HBsIG製剤…………… 2.8%
  - ATⅢ製剤…………… 97.4%



# の行方（平成19年版）

